

■シンポジウムに参加してきました。



2013年3月4日から8日まで、チリのプコンで開催された4th International Symposium on Biological Control of Arthropods に、生物多様性研究領域の村田さんが参加しました。この出張は、女性研究者のキャリア育成支援の一環で行っている海外出張支援によるものです。

＜村田さんの報告から＞

本大会は、主に農業・森林害虫に対する生物的防除分野の研究者が、4年に1度、会するシンポジウムです。今大会では約200人が参加し、口頭97題、ポスター88題が発表され、全てのセッションが1つの会場で行われたため集中して聴くことができました。

私自身は「ハムシとその天敵である寄生蜂の大量飼育」について発表しましたが、予想以上に多くの方からコメントを得ることができました。

また、学会期間中は参加者同士が交流するための時間が多く設けられていたため、特にこれまで接する機会が少なかったチリをはじめとする南米の研究者と情報交換することができ、幸いでした。また、国内の昆虫分野の学会に比べ、活躍している女性研究者の数が多く、お子さん同伴での参加者が目に付きました。研究と家庭の両立に対して、女性研究者もそのパートナーもより積極的に向き合っているのも印象的でした。

本学会に参加した5日間は、大変刺激的で充実した時間を過ごすことができました。このような貴重な機会を与えていただきました女性研究者のキャリア育成支援に心より感謝いたします。



News Letter

3月

海外出張に

行ってきました号



2013.3.